

空をテーマにした造形表現活動

山西 多加 (小田原短期大学 通信教育サポートセンター 大阪)

1.1 はじめに

「空」は幼児・児童にとって身近に観察できる自然である。本稿では、自然への興味や関心を目指す「空」をテーマとした造形表現活動の教材と援助を探究する。

1.2 方法

研究対象は「雷雨」「風」「雪」「雲」をテーマにした主に2024年から2025年度実施のA幼稚園 課外教室(幼児4,5歳児・児童小学校1-6年生)、Bこども園設定保育(4歳児)、C大型児童館(2歳から小学1-6年生、2024年以前実施含)での、個人や協同による描画と立体表現活動である。実践における援助及び幼児・児童の活動の様子と援助内容を考察する。その上で、自然への興味や関心を育てる教材と援助を提示する。

2. 実践及び考察

図1は、一年を通した雨の降り方及び、日中や季節によって変化する空の様子を、児童が捉えた表現である。児童が空を見上げて感じ取った様子が伝わる。本章は空の現象を「雷雨」「雲」「雪」「風」のテーマで表現する活動を提示する。



図1 児童による「空」の表現資料¹⁾

2.1 「雷雨」をテーマにした造形表現活動

2025年9月A幼稚園課外教室、4,5歳児9名にての活動を記述する。指導者は、雷の動画をスピーカーに接続してタブレットで提示する。音量の大きさに、幼児は驚く。耳を塞いだり、キャーと叫ぶ。次に雷や雨の日の思い出を尋ねたり、写真や大津絵等(図2)で雷や雨の日の生き物について知らせる。アフリカの伝統楽器「レインスティック(図2の棒)」を紹介する。幼児は、目をつむって聴いたり、順番に鳴らす。続いて指導者は、自身が幼少期、雷が怖くて座布団を被って震えていた思い出を語り、見本に描く。幼児の表現は、分類し表1に示す。幼児は、自分なりに空の様子を表し(表1a)、雷や雨の思い出を表している(同b, d1)。発想した表現(同a5, c, d2・3)もある。



図2「雷」をテーマにした表現活動の導入時使用教材の一部²⁾

表1 「雷」をテーマにした幼児の表現内容例

a.空の様子	b.人物	c.人物以外の生物	d.その他
1 雷	怖くて泣いている自分	カタツムリ	水たまり
2 雨	怖くておうちに入ってる自分	怖くてカラに入ってるカタツムリのあかちゃん	雨をためるもの
3 雲	傘さしてる自分	犬	おうちの中のテーブルにリンゴ、ブドウ
4 雷雲	ママ	ウサギ	
5 雨雲の上に太陽、虹	水たまりに、ばっしゅんって入ってママに怒られた自分	葉っぱに隠れているパンダ、ダンゴムシ	
6		雲の上の鬼がはっは	
7		雷さん	

2.2 「雲」をテーマにした造形表現活動

2024年、2025年4月A幼稚園卒園生課外教室小学1-6年生、述べ28名にての活動を記述する。指導者は、雲の絵画作品(図3)を提示し、感想を尋ねる。その後、児童は園庭でそれぞれ雲を見つけて描く。日常一つの作品が完成するまでの時間には、45分未満から180分以上といった個人差があるが、この活動は、全ての児童が、完成に120分以上の時間を要した。また、活動後に「歩いている、素敵な雲を見つけたから、写真を撮った」と指導者に写真を見せて伝える児童がいた。



図3「雲」をテーマにした表現活動の導入時使用教材の一部³⁾

2.3 「雪」をテーマにした造形表現活動

2024年12月、2025年12月にBこども園設定保育(4歳児24名)での、ホップアップカードを用いた活動(図4左上、指導者見本)、2025年12月にA幼稚園課外教室(4,5歳児9名)での、協同による表現活動(図4左下、指導者見本)を記述する。指導者は資料(図4中はその一部)を示し、雪が積もった様子、雪の中で見られる生き物、雪遊びについて知らせる。後者の協同表現活動には、これに加え『モチモチの木』(図4右上下)の話と挿絵を伝える。

ホップアップカードの表現では、雪山で見られる足跡クイズに考えて答えたり、生き物の写真資料を見て「かわいい」「わー」などの声が上がった。雪遊びやスケートの写真資料では、体験を思い起こし話す幼児がいた。

協同による表現では、上記と類似の発話がみられ、表2に示す内容を表現した。雪遊び体験がない幼児も、写真や絵本挿絵を見聞きし「雪遊び(表2a)」「雪の降る所やそこに暮らす生き物(同b)」を表現した。「ウサギ」「キツネ」「シロクマ」は、幼児の観察体験や絵本から知り得た身近な生き物なのかもしれない。同cには、幼児の想像が含まれている。製作終盤頃に、多様な雪の結晶を写真で示し、ホイル折り紙で切り紙による雪の結晶作りを実施した。出来上がった形に「キャー」と嬉しそうな声上がり、友だちと見せ合い、違いを見つけ合っていた。



図4「雪」をテーマにした表現活動の導入時使用教材の一部⁴⁾

表2 「雪」をテーマにした幼児の協同による表現内容例

	a.雪で遊ぶ様子	b.雪山の自然	c.その他
1	ゆきだるま	雪が積もった山	暖かい食べ物がある場所
2	雪合戦	動物の足跡	山を登る乗り物
3	そり	ウサギ	こたつ、みかん
4	スケート	狐	スケートの靴やヘルメットを借りる所
5	かまくら	シロクマ	屋外のテーブルにジュース
6	ゆきうさぎ	冷たい風	葉っぱが浮かんでる温泉
7		降る雪	
8		モチモチの木	
9		雪の結晶	
10		凍った湖	

2.4 「風」をテーマにした造形表現活動

2024年度、A幼稚園課外教室(児童小学校1-6年生)にて、「風」をテーマにした表現活動を実施した。指導者は、資料(図5)を示し、日常生活からの発想や名画からの発想を提案する。小学3年生児童は、浮世絵(図5右)の主人公を、自作のキャラクターに置き換え、ぼうしが吹き飛ばされて追いかける情景を表す。浮世絵の背景を活かし、臨場感が伝わるキャラクターの表情を表した。

「風」のみをテーマとした幼児の活動の実施はないが、過去の活動で、背景に「風に揺れる花」「風に揺れる木の枝」「冬の冷たい風」などの表現が見られた。目に見えない「風」を、体験から発想し自分なりの方法で表している。

C大型児童館では、2024年以前に「風車」「折り紙の凧」(図6)を実施した。風車を持って、風向きを探したり、吹いたり、歩いて風を起こす姿が見られた。凧を上げる際、風向きや凧の角度を何度も確かめる姿が見られた。

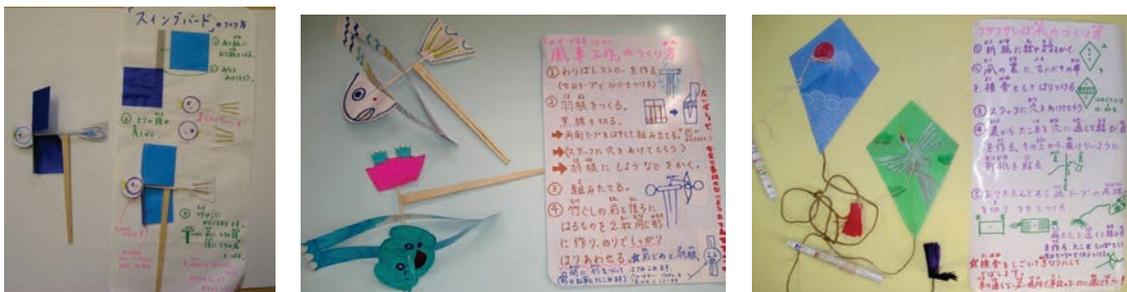
図5「風」をテーマにした表現活動の導入時使用教材の一部⁵⁾

図6「風」を感じ取る手作り玩具例、風車、折り紙の風

3. まとめ

「雷雨」の活動で幼児は、体験や資料等から発想し表現した。「雲」の活動で児童は、比較的時間をかけて表現した。活動後も雲に関心が継続した児童がいた。「雪」の活動で幼児は、体験や資料から「雪の遊び」「雪の降る所やそこに暮らす生き物」を表現した。また、切り紙で雪の結晶の特徴に触れた。「風」の活動では、浮世絵から発想し、自作のキャラクターと組み合わせて表現した児童がいた。幼児は、目に見えない「風」を、体験から発想し自分なりに表す。手作りの風車と凧で、風を探したり、風を作り出そうとする幼児、児童がいた。

自然への興味や関心を育てる「空（雷雨・雲・雪・風）」をテーマとした造形表現活動における援助は、以下3点である。1. 幼児、児童の体験を尋ねる 2. ICTを活用した疑似体験を提供する 3. 絵画作品や絵本挿絵を活用する

幼児、児童の発話や表現内容からは、提示した資料等の何を受け止め、発想のきっかけとなったのが窺える。幼児、児童が体験を思い起こし、未体験の場合は、関心が持てるような疑似体験が必要である。活動後も「雷雨・雲・雪・風」等の興味や関心が継続するには、活動に集中し、楽しむことが肝要だろう。そのために、描きたいこと、作りたいものが見出せる援助が必要である。

本研究の限界と今後の課題を述べる。調査人数が十分ではない。大規模調査は困難だが、年を重ねて記録を蓄積し、有効な援助を見出したい。

註

- 1) 佐藤忠良他『子どもの美術4』1991 現代美術社 pp. 8-9
- 2) 左作品：佐藤忠良他『子どもの美術3』1991 現代美術社 p. 16
雷 <https://president.jp/articles/-/30402?page=1> トンボ
https://www.shuminoengei.jp/?m=pc&a=page_image_slideshow&target_c_album_image_id=1934599
- 3) 左：佐藤忠良他『子どもの美術6』1989 現代美術社 pp. 8-9 右：東山魁夷『晩鐘』（1971）「こころの風景 Scenery of the Heart 東山魁夷生誕100年（額絵）」読売新聞
- 4) 中：動物の足跡 <http://familiarsight.cocolog-nifty.com/blog/2015/03/post-de75.html>
左：斎藤隆介作滝平二郎絵『モチモチの木』1971 岩崎書店、上 pp. 26-27、下 pp. 28-29
- 5) 左：佐藤忠良他『子どもの美術1』1991 現代美術社 p. 39 中：佐藤忠良他『子どもの美術2』1991 現代美術社 p. 5 右：歌川広重『四日市（三重川）』（1830-44）「東海道五十三次額絵」読売新聞